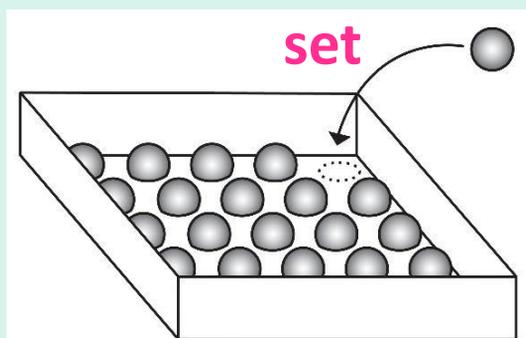


# < 基本動詞 > SETの世界

## CORE IMAGE

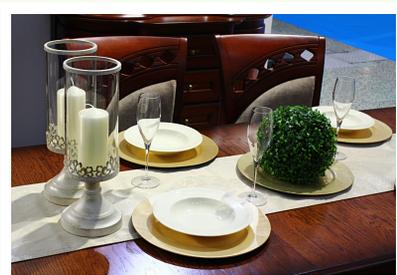


定められた位置に  
据える

I set my mind to it.



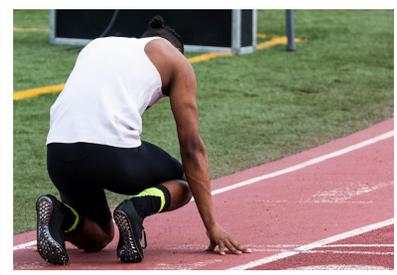
set は put に似た動詞です。この2つの違いは何でしょうか。皿を食卓に載せる場面で、She put some dishes on the table. といえば、無造作に何枚かの皿をテーブルに置いたという解釈ができます。一方、**She set some dishes on the table.** だと食卓の準備をするために所定の位置に据えたという意味合いになります。set のコアは「定められた位置に据える」ということで、コアイメージを示すと上の図のようになります。



She **set** some dishes on the table.

彼女は(食卓の準備をするために)何枚かの皿を(所定の位置に)据えた

所定の位置が前提としてあるかどうかが決め手です。陸上競技などで、**On your mark, (get) set, go!** の場合の set はまさに、所定の位置につくということです。



On your mark, (get) **set**, go!

位置について、用意、ドン！

また、太陽が沈む状況を **The sun sets in the west.** と表現しますが、太陽が沈む位置が定まっているということから **set** が使われます。これは自動詞の用法です。



The sun **sets** in the west.

日は西に沈む

写真を撮っている状況でちょうどいい感じのところで「そのままいて」というのを **Stay put.** と言います。これは、偶然、いい感じになったということで、**Stay set.** だと最初からとどまる位置が定まっているということになります。



**Stay set.**

(最初から定まった位置で)そのままいて

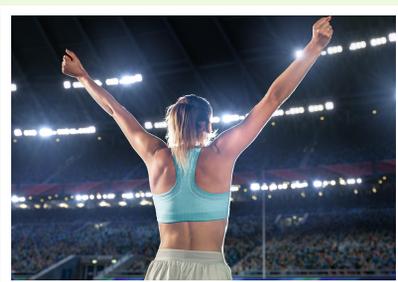
日本語でも「セットする」だとか「何々を 1 セット注文する」という言い方をします。また、「目覚まし時計を 6 時に合わせて」だと、**Could you set the alarm for 6?** のように言います。



Could you **set** the alarm for 6?

目覚まし時計を 6 時に合わせて

**set** には「所定の場所」と「据える」が含まれますが、「据える」という部分を強調することで、新記録を打ち立てたり、見本を示したりする場合にも用いられます。**A world record was set here tonight.** (世界記録が今夜ここで打ち立てられた)がその例です。公式の記録があり、そこに新しい記録が据えられるということです。**I'm all set.** は「準備万端」の意味でよく使う表現ですが、あるべき場所にあるべき形で置かれているといった感じです。



A world record was **set** here tonight.

世界記録が今夜ここで打ち立てられた



I'm all **set**.

準備万端

定められた場所に据えるということは、置かれたものが動かないことが望ましいということになります。そこで、セメントが固まるときは、**It takes two days for the cement to set.** (セメントが固まるには2日かかる)のように **set** を使います。また、「決意を固める」の **set one's mind** も同じことです。**I set my mind on going this way.** (この道に行くことに決めた)とか **I set my mind to it.** (それをやることに決めた)のような使い方をします。



It takes two days for the cement to **set**.

セメントが固まるには2日かかる



**set** one's mind

決意を固める



I **set** my mind on going this way.

この道に行くことに決めた